




# 1号機のデブリ分布・RPV・PCV状態の推定図

凡例

-  酸化物デブリ(多孔質)
-  粒子状デブリ
-  コンクリート混合デブリ
-  健全CRGT
-  破損したCRGT
-  健全CRD
-  CRD(内部にデブリ)
-  健全シュラウド
-  沈でん物(材質不明)
-  RPV破損口
-  バルーニング燃料※
-  燃料棒※
-  酸化物デブリ※
-  重金属デブリ※
-  ペレット※
-  粉状ペレット※
-  被覆管残渣※
-  溶融炉内構造物※
-  固化B4C ※
-  制御棒混合溶融物※

- ・事故中に炉内で溶融プールを形成した可能性(一般的な推定)
- ・シュラウド破損の可能性(一般的な推定)
- ・シュラウドが破損した場合、ダウンカム部に溶融燃料が侵入し、ジェットポンプ破損の可能性(一般的な推定)

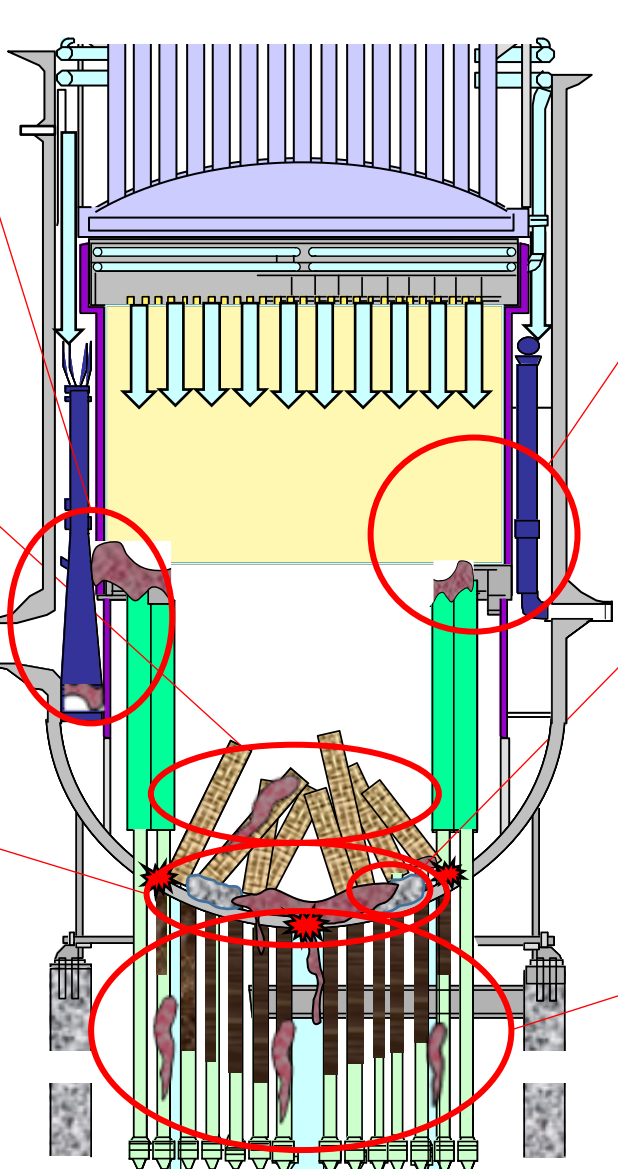
- ・高温の燃料デブリからの熱移動が小さい場合、CRGTは溶けずに残る可能性(一般的な推定)

- ・炉心まで水位形成できないため、下部プレナムに破損口が存在(実測に基づく推定)
- ・下部プレナム底部のボトムドレン等が脆弱であり、損傷している可能性(一般的な推定)
- ・下部プレナムに落下した燃料はRPV底部に残存する可能性(一般的な推定)

- ・ペDESTAL壁の下部のうち、サンプルに近い部分はMCCIにより部分的に浸食されている可能性(一般的な推定・解析)

- ・D/W床上の水中CCDカメラ撮影の結果、沈でん物が堆積しているように見える(実測)

- ・MCCIを起こした燃料デブリはコンクリートと混合している。(一般的な推定・解析)
- ・機器ドレン Samp 内のRCW配管が損傷し、放射性物質がRCW系統内に混入したと推定(実測に基づく推定)



- ・ミュオン測定、解析結果及び水位が形成されないことより、大部分の燃料が溶融し、燃料棒は残存していないと推定(実測・解析)
- ・CS注水開始(2011/12/10)前に冷却ができていたことより、デブリの存在量は僅かと推定
- ・溶融燃料が固化した一般的な酸化物デブリと推定(一般的な推定)

- ・粒子状デブリがある場合、淀み部にたまる可能性(一般的な推定)

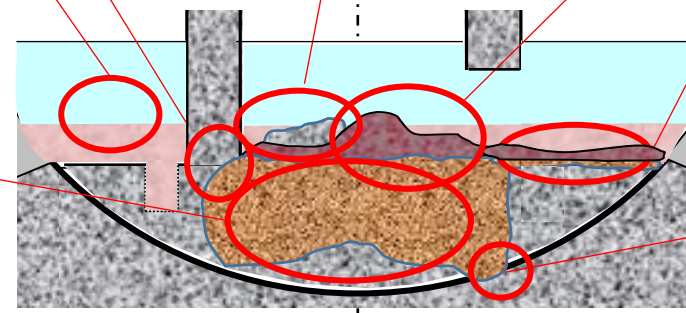
- ・HVH温度からデブリがCRD付近に存在すると推定(実測・解析に基づく推定)
- ・FDW流量を減少させた際に特定のHVH温度計の温度上昇が大きいことから、外周部のCRD付近にデブリが存在(外表面への付着か、内部への侵入かは区別できない)し、その直上にRPV破損口が存在している可能性(実測に基づく推定)

- ・燃料デブリの一部はMCCIを起こさず固化した可能性(一般的な推定)

- ・ペDESTAL開口部を通して、D/W床へデブリが拡がった可能性(一般的な推定・解析)

- ・サンドクッションドレン管から漏水しているため、PCVの損傷が生じたと推定(実測・解析)

- ・PCV床に水が溜まっていた場合、粒子状デブリが形成される。
- ・粒子状デブリがある場合、淀み部にたまる可能性(一般的な推定)



※1号機の推定図中では使用していない